

(10) リンゴ

〔果樹類>落葉果樹>仁果類>りんご〕

① 防除のポイント・注意事項

病害虫名	防除時期	摘 要
【病害全般】	[耕種的防除]	<ul style="list-style-type: none"> ・発病部位(主に葉・枝・果実)は発見次第すみやかに除去し、園外で焼却か土中深く埋める。 ・落葉やせん定によって切り取った枝も、園外で粉碎・焼却または土中深く埋める。
黒 星 病	開 花 前 ～ 幼 果 期	・一次伝染の防止が重要なので、開花期前後の薬剤散布に重点を置く。
	果 実 肥 大 期	・銅水和剤を使用する場合は、サビ果防止のため炭酸カルシウム剤を混用する。
	収 穫 後	・ 休眠期防除参照
斑 点 落 葉 病	落 花 期	・フロンサイドSCの前後にボルドー剤を散布する場合は、7日以上の間隔をあける。
	収 穫 前	・収穫までの日数を考慮して、使用時期「前日まで」等、日数が短い薬剤を使用する。
	収 穫 後	・この時期は主に有機銅剤を用いる。
褐 斑 病	梅 雨 明 け 前 後	・低温多雨の年に発生が多くなり、早期落葉につながる。
す す 斑 病 す す 点 病	5 月 中 旬 ～ 9 月 下 旬	<ul style="list-style-type: none"> ・夏に降雨の多い年に発生が多い。 ・有袋栽培で発生が多いので、袋かけ前に防除する。
赤 星 病	4 月 下 旬 ～ 5 月 中 旬	・多発園では初発期とさらにその1週間後に散布する。
	[耕種的防除]	・中間宿主であるビャクシン類を周辺(1km程度)から取り除く。
輪 紋 病 (いぼ皮病)	6 月 中 旬 ～ 8 月 上 旬	・高温多雨条件が続くと感染頻度が高くなる。
腐 ら ん 病	剪定時及び病 患 部 削 り 取 り 直 後	<ul style="list-style-type: none"> ・トップジンMペーストまたはバッチレートを原液のまま使用する。 ・せん定時にはせん定直後の切り口に塗布する。 ・病斑を見つけた場合は、すみやかに病患部を大きめに削り取り、傷あと及びその周辺に十分塗布する。 ・休眠期防除参照
切り口および 傷口のゆ合促進	剪定整枝時、 病患部削り取り直 後、及び 病枝切除後	・せん定直後の切り口にトップジンMペーストまたはバッチレートを塗布する。
アブラムシ類	5 月 上 旬 ～ 7 月 下 旬	・展葉初期の防除を徹底する。
カイガラムシ 類	【 共 通 】	・ 休眠期防除参照
	幼 虫 ふ 化 直 後	・5月上～中旬、7月上～中旬頃の幼虫ふ化期から若齢幼虫期に薬剤を散布する。
	[耕種的防除]	・9月下旬までに主枝や垂主枝にコモ等を巻き付けて、バンド誘殺を行う。

病害虫名	防除時期	摘 要
コナカイガラ ムシ類 クワコナカイガラ ムシ(若齢幼虫)	幼 虫 ふ化直後	・5月上～中旬、7月上～中旬頃の幼虫ふ化期から若齢幼虫期に防除する。 ・ 休眠期防除参照
カメムシ類	6月中旬～ 9月下旬	・成虫が山林から果樹園に飛来し、幼果期から収穫期まで加害する。 ・落果に注意しながら樹を揺すって、成虫の有無を確認する。
ハマキムシ類	展 葉 期	・発生状況を見ながら、ふ化幼虫の最盛期に防除する。
	果実肥大期	・果実肥大期間中は、ふ化幼虫最盛期に防除する。
	[耕種的防除]・葉と果実の接触部分に生息しやすいので、葉摘みを行う。	
ハダニ類 (リンゴハダニ) (ナミハダニ)	6月下旬～ 9月上旬	・ハダニ類は短期間で増加し、増加すると防除困難になるので、発生初期にかけ残しのないように丁寧に散布する。 ・高温・乾燥が続くと発生しやすいので注意する。 ・ 休眠期防除参照
シンクイムシ類	6月下旬～ 9月上旬	・リンゴを加害するシンクイムシ類として、モモシンクイガおよびナシヒメシンクイがある。 ・世代間の重なりが大きく、連続的に発生するので、継続的な防除対策が必要である。また、果実への食入前に防除する。
キンモンホソガ	幼 果 期	・食入虫の防除よりも食入防止に重点を置き、成虫発生期から産卵期にかけての散布が効果的である。
	果実肥大期	・7月下旬から8月上旬の第3世代の卵および無脚幼虫期に散布する。
	[耕種的防除]・冬期に落葉を焼却するか、または土中に埋める。	
ギンモン ハモグリガ	4月～9月	・老熟幼虫がぶら下がるのを確認し、その10日～2週間後に卵期を迎えるので、その時期に薬剤を散布する。
カミキリムシ類	6～7月	・産卵初期～産卵最盛期直前に処理する。 ・主幹地際部から約50cmの高さまで塗布または散布する。 ・薬液が果実や葉に付着しないように注意して散布する。

リンゴ【殺菌剤・その他】

RPA

作物名	薬剤名	農薬の種類	RAC	毒劇	使用時期	使用回数	使用量	使用方法	適用病害虫名/使用濃度（希釈倍率）										
									すす点病	すす斑病	褐斑病	黒星病	傷口のゆ合促進	赤星病	切り口及び傷口のゆ合促進	斑点落葉病	腐らん病	輪紋病	銅水和剤による薬害軽減
りんご	ICボルト [®] -412	銅水和剤	M1		-	-	200～700g/10a	散布			30～50倍	30～50倍				20～50倍		20～40倍	
りんご	アクサーフロアブル	ジフェノコナゾール・フルキサビロキサド水和剤	3,7		収穫14日前まで	3回以内	200～700g/10a	散布			2000倍	2000倍		2000倍		2000倍			
りんご	アリエッティC水和剤	キャブタン・ホセチル水和剤	M4,P7		収穫前日まで	3回以内	200～700g/10a	散布	800倍	800倍	800倍	800倍				800倍		800倍	
りんご	アントラコール顆粒水和剤	プロピネブ水和剤	M3		収穫45日前まで	4回以内	200～700g/10a	散布	500倍	500倍	500倍	500倍				500倍		500倍	
りんご	インダ [®] -フロアブル	フェンコナゾール水和剤	3		収穫14日前まで	3回以内	200～700g/10a	散布	10000倍	10000倍	10000倍	5000～12000倍		8000～12000倍					
りんご	オーシャイン水和剤	オキサボコナゾールフルマ酸塩水和剤	3		収穫7日前まで	5回以内	200～700g/10a	散布	3000倍	3000倍		3000～4000倍		3000～4000倍		2000～3000倍			
りんご	オーソサイト [®] 水和剤80	キャブタン水和剤	M4		収穫前日まで	6回以内	200～700g/10a	散布	600～800倍	600～800倍	600～800倍	600～1000倍				600～800倍		600～800倍	
りんご	オキシラン水和剤	キャブタン・有機銅水和剤	M1,M4		収穫14日前まで	4回以内	200～700g/10a	散布	500～600倍	500～600倍	500～600倍	500～800倍				500～800倍		500～800倍	
りんご	オルフィンプラスフロアブル	テブコナゾール・フルピラム水和剤	"[-](I*),3		収穫7日前まで	3回以内	200～700g/10a	散布	2000倍	2000倍	2000倍	2000～3000倍		2000～3000倍		2000～3000倍			
りんご	キノト [®] -水和剤40	有機銅水和剤	M1		収穫14日前まで	4回以内	200～700g/10a	散布				500～800倍				500～800倍			
りんご	キノト [®] -水和剤80								1200倍	1200倍	1200倍	1200～1600倍				1200～1600倍		1200倍	
りんご	キノト [®] -顆粒水和剤								1000倍	1000倍	1000倍	1000倍				1000倍		1000倍	
りんご	コサイト [®] 3000	銅水和剤	M1		-	-	200～700g/10a	散布	2000倍	2000倍	2000倍				2000倍		2000倍		
りんご	ジマンダ [®] セン水和剤	マンゼブ水和剤	"UN(I*)		収穫30日前まで	3回以内	200～700g/10a	散布	500～600倍	500～600倍	600倍	500～600倍		500～600倍		500～600倍		500倍	
りんご	スクレアフロアブル	マンテスタロピン水和剤	11		収穫前日まで	3回以内	200～700g/10a	散布				2000～3000倍						2000～3000倍	
りんご	スコア顆粒水和剤	ジフェノコナゾール水和剤	3		収穫14日前まで	3回以内	200～700g/10a	散布			2000～3000倍	3000～4000倍		3000～4000倍		3000倍			

作物名	薬剤名	農薬の種類	RAC	毒劇	使用時期	使用回数	使用量	使用方法	適用病害虫名/使用濃度（希釈倍率）										
									すす点病	すす斑病	褐斑病	黒星病	傷口のゆ合促進	赤星病	切り口及び傷口のゆ合促進	斑点落葉病	腐らん病	輪紋病	銅水和剤による薬害軽減
りんご	ストロビートライフロアブル	クレキシメチル水和剤	11		収穫前日まで	3回以内	200～700g/10a	散布	2000～3000倍	2000～3000倍	2000～3000倍	3000倍		1500～3000倍		1500～3000倍		2000～3000倍	
りんご	セルカデイスDフロアブル	ジチアノ・フルキサロキサド水和剤	7,M9	劇	収穫60日前まで	3回以内	200～700g/10a	散布			1500倍	1500倍		1500倍		1500倍		1500倍	
りんご	ダユニール1000	TPN水和剤	M5		収穫45日前まで	3回以内	200～700g/10a	散布				1000倍				1000倍			
りんご	チオノックフロアブル	チウラム水和剤	M3		収穫30日前まで	5回以内	200～700g/10a	散布	500倍	500倍	500倍	500倍		500倍		500倍		500倍	
りんご	デランフロアブル	ジチアノ水和剤	M9	劇	収穫60日前まで	3回以内	200～700g/10a	散布			1000～2000倍	1000～2000倍				1000～2000倍		1000～2000倍	
りんご	ドキンフロアブル	有機銅水和剤	M1		収穫14日前まで	4回以内	200～700g/10a	散布	800～1000倍	800～1000倍	800～1000倍	800～1000倍				800～1000倍		800～1000倍	
りんご	トップジンMペースト	チオファネートメチルペースト剤	1		【A】	3回以内		塗布									原液	原液	
					【B】										原液				
りんご	トップジンM水和剤	チオファネートメチル水和剤	1		収穫前日まで	6回以内	200～700g/10a	散布	1000～1500倍	1000～1500倍	1000～2000倍	1000～2000倍					1000～1500倍	1000～1500倍	
りんご	トリフミン水和剤	トリフルミゾール水和剤	3		収穫前日まで	3回以内	200～700g/10a	散布				2000～3000倍		2000～3000倍		2000～3000倍			
りんご	トレノックスフロアブル	チウラム水和剤	M3		収穫30日前まで	5回以内	200～700g/10a	散布	500倍	500倍	500倍	500倍		500倍		500倍		500倍	
りんご	リアWDG	ピラクトロピン・ボスカド水和剤	11,7		収穫前日まで	3回以内	200～700g/10a	散布	2000倍	2000倍	2000倍	2000倍				2000倍	2000倍	2000倍	
りんご	ネクスターフロアブル	イピラザム水和剤	7		収穫前日まで	3回以内	200～700g/10a	散布				1500～3000倍		1500倍		1500倍			
りんご	パッチレート	有機銅塗布剤	M1		【A】	3回以内		【Z】					原液				原液		
りんご	パレート157フロアブル	ピラジフルミド水和剤	7		収穫前日まで	2回以内	200～700g/10a	散布	2000～3000倍	2000～3000倍	2000～3000倍	2000～3000倍		2000倍		2000～3000倍		2000～3000倍	
りんご	ファンタジスタ顆粒水和剤	ピリベナルブ水和剤	11		収穫前日まで	3回以内	200～700g/10a	散布	3000～4000倍	3000倍	3000～4000倍	3000～4000倍				3000～4000倍		3000～4000倍	

作物名	薬剤名	農薬の種類	RAC	毒劇	使用時期	使用回数	使用量	使用方法	適用病害虫名/使用濃度（希釈倍率）											
									すす点病	すす斑病	褐斑病	黒星病	傷口のゆ合促進	赤星病	切り口及び傷口のゆ合促進	斑点落葉病	腐らん病	輪紋病	銅水和剤による薬害軽減	
りんご	フルツセイパ-	ペンチヒト水和剤	7		収穫前日まで	3回以内	200～700g/10a	散布	1500～3000倍	1500～3000倍	1500～2000倍	1500～3000倍		1500～3000倍		1500～2000倍				
りんご	フオンサイト SC	フルアジナム水和剤	29		収穫45日前まで	1回	200～700g/10a	散布	2000～2500倍	2000～2500倍	2000～2500倍	2000～2500倍				2000～2500倍		2000倍		
りんご	ベルクトフロアブル	ミノクタジソルベシ硫酸塩水和剤	M7		収穫前日まで	4回以内	200～700g/10a	散布	1000～1500倍	1000～1500倍	1000～1500倍	1000～1500倍				1000～1500倍		1000～1500倍		
りんご	ベルクト水和剤	ミノクタジソルベシ硫酸塩水和剤	M7		収穫前日まで	4回以内	200～700g/10a	散布	1000倍	1000倍	1000倍	1000～2000倍				1000～2000倍		1000倍		
りんご	ペンレート水和剤	ペンミル水和剤	1		収穫前日まで	4回以内	200～700g/10a	散布	2000～3000倍	2000～3000倍	2000～3000倍	2000～3000倍					2000～3000倍	2000～3000倍		
りんご	ユニックス顆粒水和剤47	シプロジニル水和剤	9		収穫14日前まで	4回以内	200～700g/10a	散布			2000倍	1000～2000倍				1000～2000倍				
りんご	クレフソ	炭酸カルシウム水和剤	その他			-		【Y】												80～100倍

使用時期：【A】剪定時及び病患部削り取り直後、

【B】剪定整枝時、病患部削り取り直後、及び病枝切除後

使用方法：【Z】剪定枝の切口、病患部の削除あとに塗布、【Y】銅水和剤に混用して散布

リンゴ【殺虫剤】

RPA

作物名	薬剤名	農薬の種類	RAC	毒劇	使用時期	使用回数	使用量	使用方法	適用病害虫名/使用濃度（希釈倍率）													
									アブラムシ類	カイガラムシ類	カミキリムシ類	カメムシ類	ギンモンハモグリガ	キンモンホリガ	クワコカイガラムシ	コナカイガラムシ類	シクイムシ類	ナミハダニ	ハダニ類	ハマキムシ類	リンゴハダニ	
りんご	アデント水和剤	アクリナリン水和剤	3A		収穫前日まで	3回以内	200～700g/10a	散布	1000倍					1000倍			1000倍					
りんご	アクト顆粒水溶剤	チアトキサム水溶剤	4A		収穫7日前まで	2回以内	200～700g/10a	散布	2000～3000倍			2000倍	2000～3000倍	2000～3000倍		2000～3000倍	2000倍					
りんご	アグロスリン水和剤	シペルメトリン水和剤	3A	劇	収穫前日まで	2回以内	200～700g/10a	散布	2000倍				2000倍	1000～2000倍			1000～2000倍				1000倍	
りんご	アプロートフロアブル	プロフェジン水和剤	16		収穫30日前まで	2回以内	200～700g/10a	散布		1000～1500倍	←幼虫											
りんご	アルパリン顆粒水溶剤	ジノテフラン水溶剤	4A		収穫前日まで	3回以内	200～700g/10a	散布	2000倍			2000倍	2000倍	2000倍		2000倍	2000倍					
りんご	オリオン水和剤40	アラニカルブ水和剤	1A	劇	収穫前日まで	2回以内	200～700g/10a	散布	1000倍	1000倍			1000倍	1000倍			1000倍				1000倍	
りんご	カスケード乳剤	フルフェノクスロン乳剤	15		収穫14日前まで	2回以内	200～700g/10a	散布					2000～4000倍	2000～4000倍				2000倍			2000～6000倍	2000倍
りんご	ガットサイトS	MEP乳剤	1B	【A】	3回以内	-	【Z】															
						100～1000mL/樹	【Y】															
りんご	カネイトフロアブル	アセキシル水和剤	20B		収穫7日前まで	1回	200～700g/10a	散布										1000～1500倍				1000～1500倍
りんご	キラップフロアブル	エチプロール水和剤	2B		収穫14日前まで	2回以内	200～700g/10a	散布	1000～4000倍			2000倍	1000～2000倍	1000～2000倍								
りんご	コルト顆粒水和剤	ピリフルキサゾン水和剤	9B		収穫前日まで	3回以内	200～700g/10a	散布	3000～6000倍	3000～4000倍												
りんご	コロイト水和剤	ミルベメクチン水和剤	6		収穫前日まで	1回	400～700g/10a	散布													2000倍	
りんご	サムコルフロアブル10	クロラントラニプロール水和剤	28		収穫前日まで	3回以内	200～700g/10a	散布					2500～5000倍	2500～5000倍			2500～5000倍				2500～5000倍	
りんご	サンマイト水和剤	ピリダベン水和剤	21A	劇	収穫21日前まで	1回	200～700g/10a	散布										1000～1500倍				1000～3000倍
りんご	スカウトフロアブル	トラロメトリン水和剤	3A	劇	収穫前日まで	5回以内	200～700g/10a	散布	1500～2000倍			1500～2000倍	1500～2000倍	2000倍			2000倍				2000倍	

作物名	薬剤名	農薬の種類	RAC	毒劇	使用時期	使用回数	使用量	使用方法	適用病害虫名/使用濃度（希釈倍率）												
									アブラムシ類	カイガラムシ類	カミキリムシ類	カメムシ類	キンモンハモグリガ	キンモンゾガ	クワコナカイガラムシ	コナカイガラムシ類	シクイムシ類	ナミハダニ	ハダニ類	ハマキムシ類	リンゴハダニ
りんご	スタークル顆粒水溶剤	ジノテフラン水溶剤	4A		収穫前日まで	3回以内	200～700g/10a	散布	2000倍			2000倍	2000倍	2000倍		2000倍	2000倍				
りんご	スミチオン水和剤40	MEP水和剤	1B		収穫30日前まで	3回以内	200～700g/10a	散布	800～1200倍			800～1000倍	800～1000倍		800～1200倍					800～1200倍	
りんご	ダニカット乳剤20	アミトラス乳剤	19		収穫30日前まで	1回		散布													800～1000倍
りんご	ダニコングフロアブル	ピフルブミド水和剤	25B		収穫前日まで	1回	200～700g/10a	散布											2000倍		
りんご	ダニサラハフロアブル	シルメトフェン水和剤	25A		収穫前日まで	2回以内	200～700g/10a	散布											1000倍		
りんご	ダニトロフロアブル	フェンピロキシメト水和剤	21A		収穫30日前まで	1回	200～700g/10a	散布										1000～2000倍			1000～2000倍
りんご	ダニツツ水溶剤	クロチアジソン水溶剤	4A		収穫前日まで	3回以内	200～700g/10a	散布	2000～4000倍			2000～4000倍	2000～4000倍	2000～4000倍		2000～4000倍	2000～4000倍				
りんご	ディアドWDG	スピネトラム水和剤	5		収穫前日まで	2回以内	200～700g/10a	散布				5000～15000倍	5000～15000倍			5000～10000倍				5000～15000倍	
りんご	トランスフォームフロアブル	スルホキサフロル水和剤	4C		収穫前日まで	3回以内	200～700g/10a	散布	2000～4000倍	1000～2000倍											
りんご	ニツラン水和剤	ヘキシチアゾクス水和剤	10A		収穫7日前まで	2回以内	200～700g/10a	散布										2000～3000倍			2000～3000倍
りんご	バリアート顆粒水和剤	チアクロプリド水和剤	4A	劇	収穫前日まで	3回以内	200～700g/10a	散布	4000倍			2000倍	4000倍	4000倍		4000倍	2000～4000倍				
りんご	ハロックフロアブル	イトキサゾール水和剤	10B		収穫14日前まで	2回以内	200～700g/10a	散布										2000倍			2000～3000倍
りんご	ピラニカ水和剤	テブフェンピラト水和剤	"21A(1*)	劇	収穫14日前まで	1回	200～700g/10a	散布											1000～2000倍		
りんご	フェニックスフロアブル	フルベソジアミド水和剤	28		収穫前日まで	2回以内	200～700g/10a	散布				4000～6000倍	4000～6000倍			4000倍				4000～6000倍	
りんご	フェニックス顆粒水和剤			収穫前日まで	200～700g/10a	散布			4000倍	4000倍			4000倍		4000倍			4000～6000倍			
りんご	マイトコネフロアブル	ピフェナゼート水和剤	20D		収穫前日まで	1回	200～700g/10a	散布										1000～1500倍			1000倍
りんご	マブリック水和剤20	フルバリネート水和剤	3A	劇	収穫30日前まで	2回以内	200～700g/10a	散布	2000倍				2000倍	2000倍			2000倍	2000倍		2000倍	2000倍

作物名	薬剤名	農薬の種類	RAC	毒劇	使用時期	使用回数	使用量	使用方法	適用病害虫名/使用濃度（希釈倍率）												
									アブラムシ類	カイガラムシ類	カミキリムシ類	カメムシ類	キンモンハモグリガ	キンモンホリガ	クワコナカイガラムシ	コナカイガラムシ類	シクイムシ類	ナミハダニ	ハダニ類	ハマキムシ類	リンゴハダニ
りんご	モスリン顆粒水溶剤	アセタミプリド水溶剤	4A	劇	収穫前日まで	3回以内	200～700g/10a	散布	2000～4000倍	4000倍		2000～4000倍	2000～4000倍	2000～4000倍			2000～4000倍				
りんご	ロビンフッド	フェンプロパトリンエアゾール	3A		収穫前日まで	5回以内		【X】			*										

使用時期：【A】6～7月(産卵初期～産卵最盛期直前)但し収穫30日前まで

使用方法：【Z】主幹地際部から約50cmの高さまで塗布、【Y】主幹地際部から約50cmの高さまで散布、

【X】樹幹・樹枝の食入孔にノズルを差し込み噴射